

2019年8月13日

## 宇都宮大学 地域デザイン科学部 「地域の姿と課題Ⅰ」第6回特別講義の実施

2019年7月25日(木)、宇都宮大学陽東キャンパスで行われました「地域の姿と課題Ⅰ 第6回特別講義」において、当社 事業推進本部 副本部長の佐藤毅が講師を務めました。

「地域の姿と課題Ⅰ」は、同大学地域デザイン科学部が各種企業や市町村長などの学外講師を招いて行う特別講義です。学生が、多様なステークホルダーから、業務に関わるリアルな話を直接聴講し、実務上の現状や課題について、幅広い視点から理解する力を養うための講義です。

「地域の姿の移り変わりと災害への取り組み」と題して、過疎化・高齢化が進み限界集落となった地域の紹介、地域で起こりうる災害に関して講義を行い、災害から地域の人々を守る方法を、グループに分かれディスカッション形式で討議いただきました。講義・ディスカッションを通じて、災害への取り組みは、公的機関の支援だけではなく、平常時から防災に意識を向け「自らの取り組み」「地域で取り組み」が重要であること、「自ら」「地域」で取組める活動を考えていかなければならないことを学んでいただきました。

豪雨や土砂、地震などの災害から地域住民の安全を確保するために、当社は地盤調査や災害を察知するためのモニタリング技術、災害予測の解析技術、防災対策提案の為の設計・施工技術のさらなる向上を図り、地域・社会に貢献できるよう、取り組んでまいります。

### <講義の様子>



宇都宮大学 地域デザイン科学部  
1年生 約150名が参加

<本資料に関するお問い合わせ先>

 株式会社アサノ大成基礎エンジニアリング

TEL:03-5246-4150

URL: <http://www.atk-eng.jp/>

経営管理本部 山本、大原